

令和元年度・令和2年度の主な取組

令和元年度・令和2年度の主な取組(浜松市)

令和元年度実施

○「逃げ遅れゼロ」を達成するための取組

- 水害リスク情報等の共有に向けた取組
- ・ 水位計の設置(九領川、権現谷川、御陣屋川)



二級河川九領川(浜松市西区)

○避難行動を促す取り組み

- 「浜松版マイ・タイムライン」を作成し、台風発生前からの時系列にそった自分の行動を確認、風水害時の備えと早めの避難行動についての啓発を実施した。



(R1防災委員研修会)



(R1地域防災リーダー養成研修会)

令和2年度予定

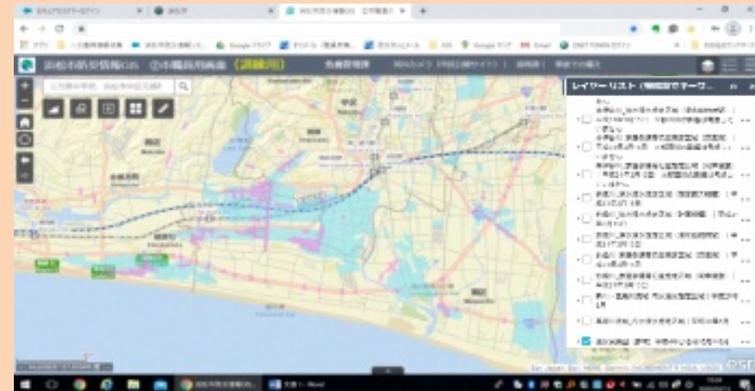
○流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進

(令和2年2月7日 静岡新聞)

令和元年度に策定した「浜松市総合雨水対策計画」に基づき、関係機関が連携し、今後10年間に効果的かつ戦略的な浸水対策を推進する。

○避難行動を促す取り組み

- GISを活用した「浜松市防災マップ」のレイヤーに浸水実績図(平成4年から令和元年8月の間に報告された浸水区域)を追加し、防災講座等での周知・啓発を図る。



浜松市防災マップ画面イメージ

令和元年度・令和2年度の主な取組(磐田市)

令和元年度実施

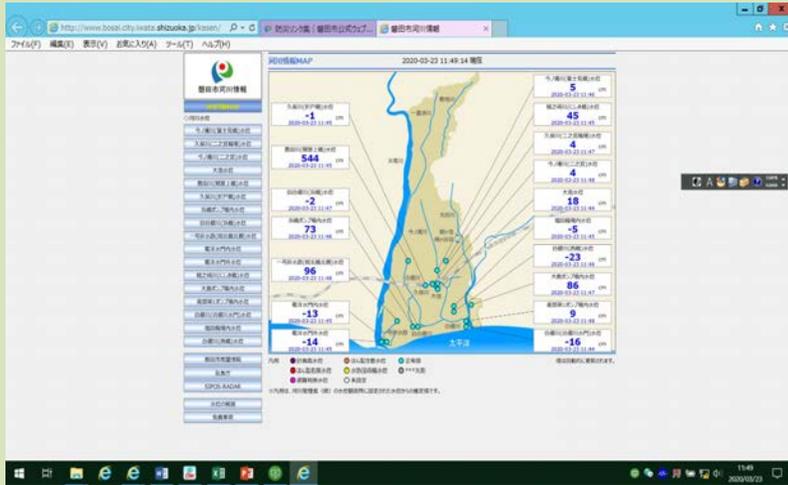
○防災意識向上のための取り組み

- 防災出前講座の継続実施
- 想定最大規模の降雨量によるハザードマップの作成

○円滑で確実な避難に資する情報発信

- 磐田市メール配信サービス「いわたホットライン」の普及
- 河川情報システムの改修

市設置の水位計を2箇所増設するとともに、全てを停電対応型に更新。停電時も継続して観測可能となり、ホームページ公開することで住民自ら水位を確認し早期避難する基準としてもらう。



○地域での水防活動の継続的な実施に向けた取り組み

- 磐田市水防演習を継続実施
- 土のうステーションの継続設置

令和2年度予定

○水災害教育の充実

●マイタイムライン作成講座の実施

マイタイムライン作成講座を交流センター講座及び宿泊体験訓練で実施します。教材には、本市が作成したハザードマップと国土交通省が提供している作成支援ツール「逃げキッド」を使用します。

また、市内大型商業施設でも講座を計画し、ひとりでも多くの市民に避難のタイミングや避難場所を周知していきます。



○円滑で確実な避難に資する情報発信

●避難情報を「いわたホットラインポルトガル語版」で配信

令和2年度出水期から台風、洪水及び土砂災害による避難情報を登録制メール「いわたホットラインポルトガル語版」で配信を開始します。静岡県防災アプリ多言語版とあわせ避難情報がより確実に外国人住民に届くよう啓発を進めます。

Iwata Hot Line ポルトガル語版 啓発チラシ

Receba informações em português no seu celular ou PC! Sistema de envio de Avisos da cidade, Instituições médicas de plantão e Eventos da cidade de Iwata. Para cadastrar-se, siga as instruções abaixo.

＜(和訳)携帯電話やパソコンなどでポルトガル語の情報を受け取りましょう! 市からのお知らせ、救急医療機関、イベント情報を配信するサービスです。登録方法は下記の手順をご覧ください。＞

○地域での継続的な実施に向けた取り組み

- 磐田市水防演習を継続実施
- 土のうステーションの継続設置

令和元年度・令和2年度の主な取組(掛川市)

令和元年度実施

○避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前 行動計画等の策定

●対応行動整理表に基づく訓練の実施

台風等の洪水災害を想定し、
国・県・市の関係機関担当者により
対応行動内容を確認しながら
計画内容を検証しました。



○要配慮者の避難に向けた取組

●災害対策研修会の実施(R元年9月10日) 53人参加



市内の居宅介護支援事業所に勤務するケアマネジャーを対象に災害対策研修会を実施し、避難行動のタイミングなど防災意識の向上を図りました。また毎年災害対策想定(机上)訓練(約55人)を実施しています。

○被害軽減のための迅速かつ的確な水防活動、排水活動 に資する基盤等の整備

●円滑な水防活動のため必要箇所へ 簡易水位計の設置

内水氾濫が発生しやすい小河川に
簡易水位計を5箇所設置し、降雨
時の水位情報として活用します。



令和2年度予定

○水害リスク情報等の共有に向けた取組

●想定最大規模の外力を対象とした洪水想定区域図を基にした 洪水ハザードマップの作成・周知の実施

①想定最大規模による洪水浸水想定区域の見直しに伴い、洪水ハザードマップ(掛川市防災ガイドブック)の改訂準備を行う。

②地域や事業所等で行う出前講座などで想定最大規模の洪水浸水想定区域の説明や周知を行い、水害リスクの共有を図る。



●広域避難体制の検討

想定最大規模の洪水浸水想定区域を踏まえ広域避難所や地域の避難場所など、各自治区と検討協議する。

○地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組

●出水期に備えた水防工法の習熟、関係機関と連携した水防体制の強化を図る。(継続)

①自主防災会による「家庭における浸水対策」訓練

②水防団による各種水防工法の習熟

③水防団・事業所・地域に土のうステーションの充実



○被害軽減のための迅速かつ的確な水防活動、排水活動 に資する基盤等の整備

●円滑な水防活動のため必要箇所へ簡易水位計の設置

市内の小河川に簡易水位計を4箇所程度設置を予定している。設置後は、市ホームページ等で閲覧可能とする。

令和元年度・令和2年度の主な取組(袋井市)

令和元年度実施

○水害リスク情報等の共有に向けた取組

●洪水ハザードマップの周知

市内全世帯へ洪水ハザードマップの配布を行った。また、全コミュニティセンター(14箇所)ごとに洪水ハザードマップや水位情報等について説明会を実施し約400人が参加した。

●マイ・タイムライン研修会の開催

「逃げキッド」を活用した、住民向けのマイ・タイムライン研修会を2地区において実施した。



▲マイタイムライン研修会

▼洪水ハザードマップ説明会



○水防活動の継続的な実施に向けた取組

●水防工法講習会及び水防演習の実施

- ・消防職員による水防工法の講習会を水防団員が受講する。
- ・太田川原野谷川治水水防組合主催による水防演習にて、水防団員が水防工法の実演を行った。

令和2年度予定

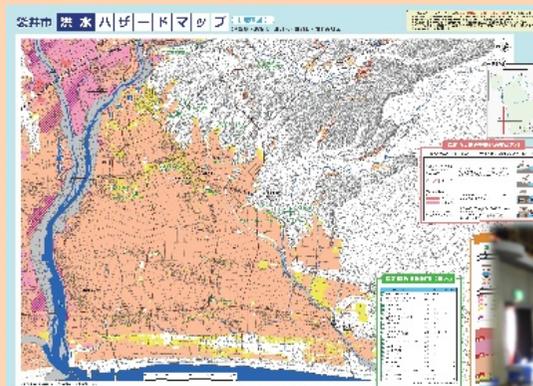
○水害リスク情報等の共有に向けた取組

●マイ・タイムライン研修会の開催

令和元年度に引き続き住民向けのマイ・タイムライン研修会を開催し、水害リスク情報の周知を行う。

●洪水ハザードマップの周知

市の地理情報システム(どまんなか袋井Navi)へ洪水ハザードマップ搭載に向けて検討を行う。



▲袋井市洪水ハザードマップ

▼マイタイムライン研修会



○水防活動の継続的な実施に向けた取組

●水防団員に対する教育・訓練の実施

- ・水防工法等の資料を水防団員に配布し、知識の習熟に努める。
- ・水防訓練を実施する。

令和元年度・令和2年度の主な取組(湖西市)

令和元年度実施

○避難行動を促す取組

- 土砂災害警戒区域での避難情報伝達訓練及び避難訓練
 - ・(継続)土砂災害警戒区域が存在する自主防災会と災害対策本部との避難情報伝達訓練及び避難訓練の実施
- 台風時マイタイムラインの作成支援
 - ・(新規)市民にタイムラインを作成してもらうよう、参考となる資料を広報紙及びウェブサイト等で公表し、啓発する

○要配慮者施設における確実な避難に向けた取組

- (新規)土砂災害警戒区域内にある要配慮者施設の避難確保計画の作成を促進するために支援を行う

○地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組

- 水防訓練の実施
 - ・(継続)市職員と消防団員が合同で土のう作成、土のう積みの訓練等を実施



令和2年度予定

○避難行動を促す取組

- (継続)土砂災害警戒区域での避難情報伝達訓練及び避難訓練
- (継続)台風時マイタイムラインの作成支援



○要配慮者施設における確実な避難に向けた取組

- (継続)土砂災害警戒区域内にある要配慮者施設の避難確保計画の作成支援
- (新規)避難確保計画に基づく避難訓練の実施

○地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組

- (継続)水防訓練の実施



令和元年度・令和2年度の主な取組(御前崎市)

令和元年度実施

○水害リスク情報等の共有に向けた取組

- 地震や津波等も含めた総合的な災害に対応するため防災意識向上を図る。
- ・地震や津波等の総合的な災害に対応するため、防災用品の購入費等に対して補助を行い、防災意識及び自助の意識の高揚を図った。
- ・令和元年11月7日に、市内及び近隣市町在住の方を対象に防災講演会を実施。
- ・その他、依頼のあった学校や各種団体で実施する防災講座で、市の防災計画等について講演する際に、防災マップや御前崎市で実施している補助金等について説明を行い、防災意識の高揚を図っている。
- ・御前崎市内各地区において、防災マップの更新について推進し、意見交換の場等に参加し、マップについての更新内容や掲載情報について意見交換を実施。令和元年度については、白羽地区の防災マップの更新を行った。

御前崎市の補助金制度を延長しました！
継続して、防災対策をサポートします！！

- 地震ブレイカー設置費補助金**
補助額 最大30,000円
上限額30,000円（補助率2/3以内）
新築の場合は10,000円
- 家具転倒防止器具等購入費補助金**
補助額 最大5,000円
最も高い高さ以上の階建ての建物、又は1階建建物の
おのり台を有する一戸建ての住宅等、天井板又は壁
について固定器具が設置されている場合は、補助対象外
となります。
- 防災用品購入費補助金**
補助額 最大7,000円
令和元年度に限り、補助率1/2以内
令和2年度からは、補助率1/3以内
の範囲で申請する。防災用品（リュックバックなどに防災用品が入る）は、防災用品として
認定されているものに限る。防災用品として認定されていないものは、補助対象外
となります。

【お問い合わせ先】 御前崎市防災対策課 防災係 TEL: 0567-396-1111
※お問い合わせは、お電話またはメールにてお願いいたします。



●防災講演会

●防災対策関連補助金チラシ

○水災害教育の充実

- 地域における災害時の応急活動・マネジメントや平時の防災訓練の場でのリーダーとなる防災リーダー・講師の育成
- ・県主催の講座や各団体が実施する養成講座等への参加を促し、防災リーダー等の育成を行った。

令和2年度予定

○水害リスク情報等の共有に向けた取組

- 地震や津波等も含めた総合的な災害に対応するため防災意識向上
- ・防災用品購入費等の防災対策関連補助金の継続と市民への周知。(継続)
- ・防災講演会の開催。(継続)
- ・各種団体で実施する防災講座等における、御前崎市の防災計画や補助金等を周知し、防災意識の向上を図る。(継続)



▲団体依頼の防災講座



▲防災事業説明会(毎年開催)

○水災害教育の充実

- 地域における災害時の応急活動・マネジメントや平時の防災訓練の場でのリーダーとなる防災リーダー・講師の育成
- ・県主催の講座や各団体が実施する養成講座等への参加を促し、防災リーダー等の育成を図る。(継続)

その他、新野川が水位周知河川へ選定された場合、洪水災害等の水害に関する対策への取り組みを実施予定。

令和元年度・令和2年度の主な取組(菊川市)

令和元年度実施

○ 確実な避難体制の確保のための避難確保計画の作成、避難確保計画に基づく避難訓練の実施

● 市内の介護サービス事業者、幼保園及び認定こども園、産婦人科、障害者福祉サービス事業者、小中高等学校等に対して説明会を開催。

○ 住民向けの防災情報発信の充実

● 危機管理ニュースの発行や出前行政講座を通じて、マイ・タイムラインについて周知し、避難の多様性や、避難行動計画の重要性を住民へ啓発した。



令和2年度予定

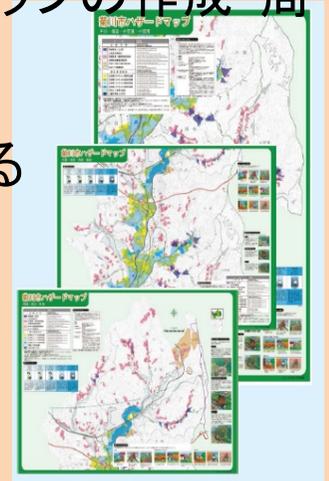
○ 迅速な水防活動及び緊急復旧活動を行う支援の拠点となる防災ステーション等の検討

● 建設及び供用開始を目指して事業を国・市で協同して進めていきます。



○ 洪水浸水想定区域図(想定最大規模)、高潮浸水想定区域、内水浸水想定区域等を基にした洪水ハザードマップの作成・周知の実施

● 想定最大規模の洪水に係る浸水想定を盛り込んだハザードマップを作成し、住民へ周知していきます。



令和元年度・令和2年度の主な取組(森町)

令和元年度実施

○要配慮者施設における確実な避難に向けた取組

配慮者施設の管理者に対し、避難確保計画策定等の説明を実施

○水災害教育の充実

自主防災組織等に赴き、防災ハザードマップ、防災ガイドブックを用いて、災害についての出前講座を実施



○地域での水防活動の継続的な実施に向けた取り組み

太田川原野谷川治水水防組合主催による水防演習に水防団員および地域住民等が参加し、水防工法や避難誘導訓練等を実施。



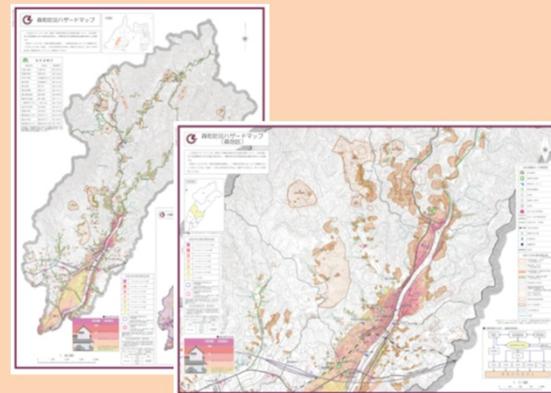
令和2年度予定

○要配慮者施設における確実な避難に向けた取組

配慮者施設の管理者に対し、避難確保計画策定等の説明を継続

○水災害教育の充実

出前講座の継続による災害についての意識、知識の向上



○地域での水防活動の継続的な実施に向けた取り組み

水防訓練・研修会等に参加



令和元年度・令和2年度の主な取組（静岡県危機対策課）

令和元年度実施

○避難勧告等に関するガイドラインの改正に伴う説明会の実施

平成31年3月の避難勧告等に関するガイドラインの改正について、県庁及び各地位局単位で説明会を開催し、概要や実施内容を説明

○住民避難実効性向上検討委員会の提言を受けた取組

①新たな啓発手段を活用した住民等への周知啓発

緊急防災情報の伝達手段の多様化、地域の災害リスクの理解促進、非常時の適切な避難行動の支援を目的とした、防災総合アプリ「静岡県防災」を開発、6月に運用開始した。

②地域の議論を踏まえた住民等自らによる避難行動計画の作成

藤枝市をモデルとして実施した、住民参加のマイ・タイムライン作成ワークショップの過程を参考に、市町職員や地域の防災リーダー向けのマイ・タイムライン作成のための手引書「マイ・タイムラインワークショップ進め方の手引」をR2.2月に作成・公表



←防災アプリ
（令和元年6月1日運用開始）

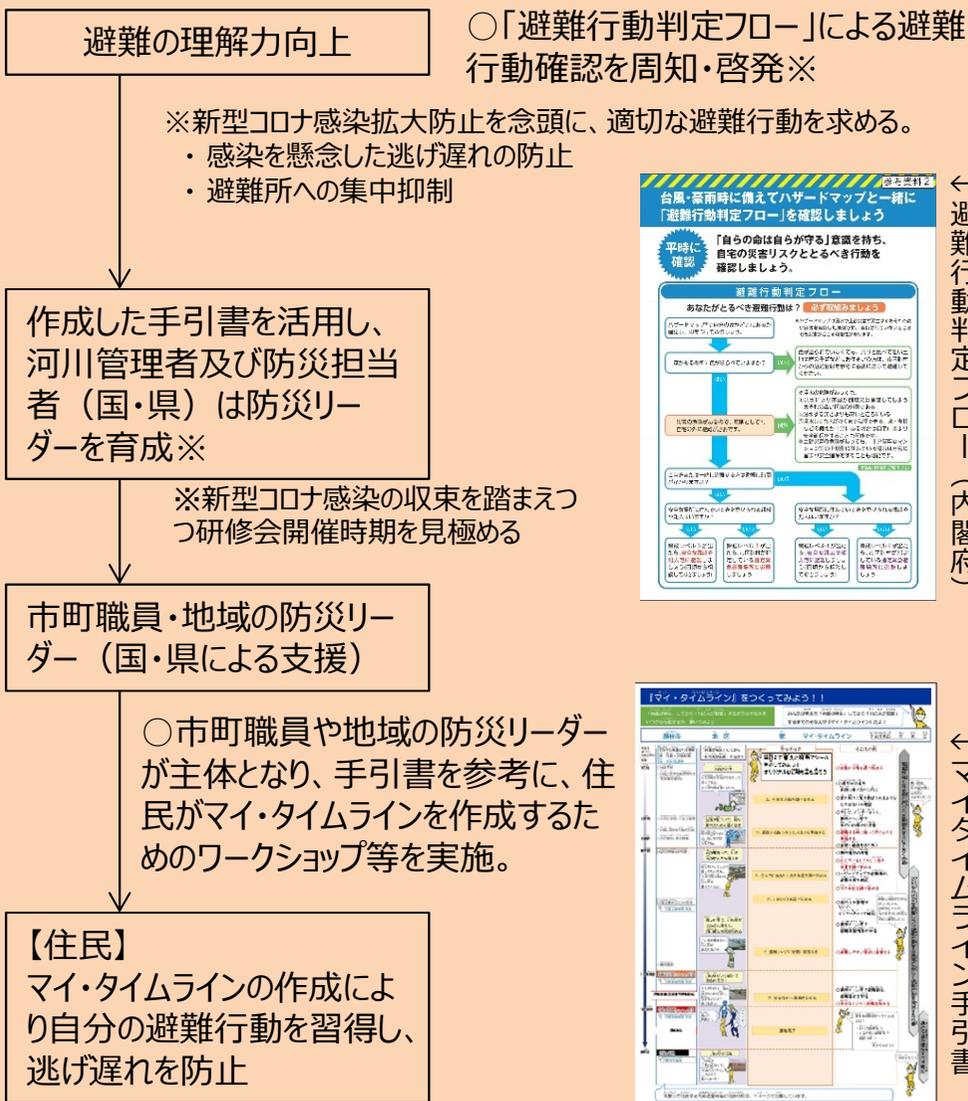
- 防災アプリ「静岡県防災」の機能
- ①緊急防災情報の通知
 - ②マップ表示
 - ③現在地の危険度確認
 - ④危険度体験（AR）
 - ⑤避難トレーニング
 - ⑥防災学習とテスト

- ＜マイ・タイムライン作成のための手引書概要＞
- ①自分たちの住んでいる地区の水害リスクを知る
 - ②洪水時に得られる情報を知る方法、情報を活用した避難判断の方法
 - ③マイ・タイムラインの作成の仕方（雛型）

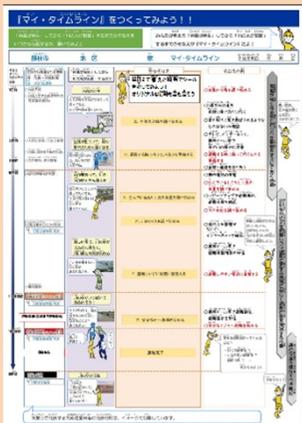
令和2年度予定

○マイ・タイムラインの作成推進

令和元年度に作成した市町職員や防災リーダー向けのマイ・タイムライン作成のための手引書を活用し、マイ・タイムラインの作成推進を図る。



←避難行動判定フロー（内閣府）



←マイタイムライン手引書

令和元年度・令和2年度の主な取組(静岡県西部地域局)

令和元年度実施

○確実な避難勧告の発令に向けた取組

1. 気象防災WSの開催(令和元年8月6日)

静岡地方気象台と共催し、大規模な風水害が発生する又は発生が予想される場合を想定し、情報連絡体制の確認、風水害に対する職員の対処能力の向上を図ることを目的とした少人数グループによるWSを実施した。



2. 対応行動整理表に基づく訓練

- ・天竜川流域(磐田市 12/25)
- ・菊川流域(掛川市 11/18 菊川市 12/4)

対応行動整理表を時系列に沿って国・県・市が読み合わせにより内容を確認し、不明点及び調整点を明瞭にした。

○避難行動を促す取組

1. 防災教育の促進

小・中学校において、AR(拡張現実)技術を用いて浸水体験や逃げ地図作り(DIG)を実施し、災害発生時には安全な場所へ確実に避難できるよう、防災講話を行った。

令和2年度予定

○水災害教育の充実

1. 地域防災支援チームと連携した普及啓発活動

静岡地方気象台の防災気象官他で構成される、「地域防災支援チーム」と連携し、管内市町の「我が事」感をもった防災力向上に直結する取組を、静岡地方気象台と連携し推進していく。



○避難行動を促す取組

1. 広報誌による情報提供

西部地域局内の住民に対し、月1回程度「西部地域局防災ニュース」を発行し、この中での防災啓発に関する情報の発信を行う。

2. 防災教育の推進

西部地域局管内の小中学生、中学生を対象に、引き続き自然災害の啓発等に関する出前講座を実施する。



3. 定住外国人向け啓発活動の実施

災害時に的確な判断に基づき行動できるよう、地震についての正しい知識、防災対応等について啓発する目的で、外国人住民のコミュニティの要請に基づいて出前講座を実施していく。



令和元年度・令和2年度の主な取組（健康福祉部）

令和元年度実施

○逃げ遅れゼロのための取組

- 高齢者福祉施設の災害対応マニュアルの改訂
 - ・「高齢者福祉施設における災害対応マニュアル（平成22年発行）」について、「大雨・洪水警戒レベル」の運用開始などを踏まえ、大幅な修正を実施
 - ・県が開催する「市町介護保険事業者指導担当者研修会」等で、施設における非常災害対策に重点をおき、本マニュアルを活用
- 要配慮者に関する情報集約訓練の実施
 - ・要配慮高齢者に関する情報集約の手段や体制について検討
 - ・防災訓練の際に、各市町からメールで避難所の要配慮高齢者人数を集約し、市町・関係団体と共有。
- 社会福祉法人等の指導監査
 - ・社会福祉法等に基づく指導監査において、「防災体制の見直しと充実・強化」を重点指導項目として防災管理体制や防災訓練の実施状況を確認、指導

○ハード対策の取組

- 非常用自家発電機・給水設備の整備（令和元年度事業）
地域介護・福祉空間設備等施設整備交付金
災害時に福祉避難所として機能する介護施設が、災害時に施設機能を維持するための電力・水の確保を自力でできるよう、非常用自家発電設備・給水設備の整備に要する費用の一部を補助
- （参考）社会福祉施設の耐震化
平成30年8月現在の耐震化率94.9%（3,109施設中2,949施設）
耐震化助成制度 先進的事業支援特例交付金（介護保険課）
介護保険関連施設等施設整備事業費補助金（介護保険課）等

令和2年度予定

○逃げ遅れゼロのための取組

- 高齢者福祉施設の災害対応マニュアルの改訂（継続）
 - ・引き続き「高齢者福祉施設における災害対応マニュアル」について、市町担当課・連絡先等の修正や、制度改正を反映させる。
 - ・県が開催する「市町介護保険事業者指導担当者研修会」等で、施設における非常災害対策に重点をおき、本マニュアルを活用する。
- 要配慮者移送調整等訓練の実施（継続・拡充）
 - ・要配慮高齢者の把握のほか、受入先施設との調整等について、防災訓練に追加することを検討
 - ・要配慮高齢者だけでなく、要配慮者全体の把握について検討
- 社会福祉法人等の指導監査（継続）
 - ・社会福祉法等に基づく指導監査において、引き続き防災管理体制や防災訓練の実施状況を確認、指導

○ハード対策の取組

- 非常用自家発電機・給水設備の整備（令和2年度事業）
地域介護・福祉空間設備等施設整備交付金のメニュー
福祉避難所の指定を受けた、特養ホーム等が、災害時に施設機能を維持するための電力・水の確保を自力でできるよう、非常用自家発電設備・給水設備の整備に要する費用の一部を補助する。

令和元年度・令和2年度の主な取組(静岡県河川砂防局)

令和元年度実施

○逃げ遅れゼロのための取組

- 水害リスク情報等の共有に向けた取組
 - マイ・タイムライン研修会を実施(市町職員対象)
(静岡・志太榛原5月30日、西部・中東遠7月25日、東部2月7日)
内容：洪水ハザードマップを活用したマイ・タイムライン作成
 - 全ての土砂災害危険箇所における基礎調査及び土砂災害警戒区域の指定完了
 - 市町福祉担当者や学校関係者に、要配慮者利用施設における避難確保計画作成に向けた取り組みについて説明(当地域9/9、11/21)
- 避難行動を促す取組
 - 危機管理型水位計の観測データを「サイポスレーダー」にて公表
(7月～運用開始)
 - 堤防が決壊した場合、どこが・いつ・どのくらい浸水するかを時系列で見ることのできる国土地理院「浸水ナビ」への登録
(県内46河川：西部地域は7河川、中東遠地域は7河川)
 - 土砂災害警戒情報の発表基準の見直し・検討
 - 土砂災害警戒情報を補足する新システムの検討
 - 不動産関係団体の研修会にて水害リスク情報の解説を実施
(主催：静岡県不動産協会 7月17.22.24日)
内容：不動産取引時に水害リスク情報を重要事項説明に追加依頼

○氾濫発生後の早期回復のための取組

- 「ふじのくに災害復旧支援隊」を初出動(台風19号対応)
伊豆市、伊豆の国市、函南町へ職員7名を派遣(10月24日)

○ハード対策の取組

【県内全域】

- 河川(河道掘削、樹木伐採等) (県内129河川：西部地域は17河川、中東遠地域は25河川)
- 砂防(土砂災害防止施設の整備) (県内37箇所：西部地域は7箇所、中東遠地域は2箇所)

令和2年度予定

○逃げ遅れゼロのための取組

- 水害リスク情報等の共有に向けた取組
 - マイ・タイムライン研修会を継続実施
内容：洪水ハザードマップを活用したマイ・タイムライン作成
 - 水位周知河川拡大検討に伴う洪水浸水想定区域図の作成・公表
(県内11河川：西部地域は3河川、中東遠地域は1河川)
 - 中小河川を対象に簡易手法による洪水浸水想定区域図の作成・公表
(県内458河川：西部地域は60河川、中東遠地域は79河川)
 - 高潮浸水想定区域図の作成・公表
 - 土砂災害警戒区域指定の精度向上(地形改変等に伴う見直し)
 - 市町福祉担当者や学校関係者に、要配慮者利用施設における避難確保計画作成に向けた取り組みについて説明

【令和3年度末までの目標】

- ※要配慮利用施設における避難確保計画作成と訓練実施(100%)
- ※市町における洪水ハザードマップ作成(県内30市町)
西部地域は完了済、中東遠地域はR3完了予定
- ※市町における水害タイムライン作成(県内30市町)
西部地域・中東遠地域完了済

●避難行動を促す取組

- 洪水危険度分布(気象庁データ)を「サイポスレーダー」に搭載
- 土砂災害警戒情報の発表の新基準による運用
- 土砂災害警戒情報を補足する新システム及びスマホ版等の運用

○ハード対策の取組

【県内全域】

- 河川(河道掘削、樹木伐採等)
- 砂防(土砂災害防止施設の整備、堆積土砂の撤去等)

令和元年度・令和2年度の主な取組(袋井土木事務所)

令和元年度実施

○水位周知河川に指定されていない河川での取組

- 水位計・河川監視カメラの増設の検討
河川監視カメラ(Webカメラ)の設置
沖之川、倉真川、磐田久保川に設置



○避難行動を促す取組

- 出前講座等を活用した住民向けの防災情報の説明会・訓練の充実

今ノ浦川で行われた水辺リングで約200名に防災について出前講座を実施した(R2.2.22)。



○水害リスク情報等の共有に向けた取組

- 水位周知河川の拡大を検討
新野川について検討

令和2年度予定

○水位周知河川に指定されていない河川での取組

- 水位計・河川監視カメラの増設の検討
河川監視カメラ(Webカメラ)の設置

【実施計画】

・総合流域防災計画に位置付けられた12箇所(水位計が設置されている箇所で監視カメラが設置されていない箇所)に順次整備する

【実施予定】

・4河川に設置予定

○要配慮者施設における確実な避難に向けた取組

- 要配慮者利用施設管理者を対象とした防災情報等の提供

○水災害教教育の充実

- 学校などと連携した洪水の特徴を踏まえた水害(防災)教育の拡充
・施設管理者や小中学校の生徒を対象に水害についての出前講座を実施する

○水害リスク情報等の共有に向けた取組

- 水位周知河川の拡大を検討
新野川を水位周知河川に指定、浸水想定区域図の公表

令和元年度・令和2年度の主な取組(浜松土木事務所)

令和元年度実施

○避難行動を促す取組

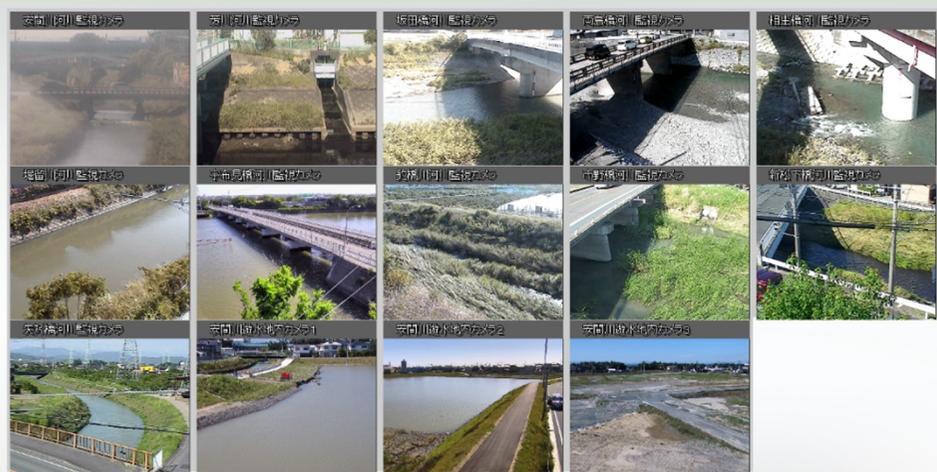
- 浜松土木事務所管内の小学生・中学生を対象に水害等の啓発等に関する出前講座や現場見学会を行う。

令和年10月1日小学校での出前講座



○水害リスク情報等の共有に向けた取組

- 県の河川Webカメラの映像を市と共有することにより監視の目を増やし、水防体制の強化を図る。



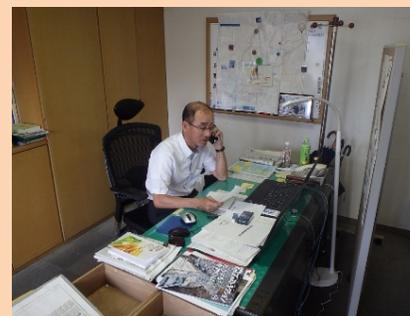
令和2年度予定

○確実な避難勧告の発令に向けた取組

- 関係市とホットラインの連絡体制を確認するため出水期前に洪水対応演習でのホットラインの訓練を行う。

令和元年6月25日 ホットライン訓練

(浜松土木事務所長 ⇒ 浜松市危機管理監)



○水位周知河川に指定されていない河川での取組

- 水位周知河川の拡大の検討
⇒二俣川、気田川、水窪川を水位周知河川に指定するための検討を実施。
- 危機管理型水位計、河川監視カメラの整備
⇒危機管理型水位計は未実施河川を中心に整備を実施すべく計画をしていく。
⇒河川監視カメラは水位計設置箇所未設置の箇所を実施していく。

○避難行動を促す取組

- 浜松土木事務所管内の小学生・中学生を対象に水害等の啓発等に関する出前講座や現場見学会を行う。

令和元年度・令和2年度の主な取組(静岡地方気象台)

令和元年度実施

防災気象情報をより一層活用しやすくするために
令和元年度出水期から、「危険度分布」が示す危険度の高まりが確実に伝わるよう、市町など希望者向けに通知するサービスを開始した。



令和2年度予定

「危険度分布」で本川の増水に起因する内水氾濫の表示を改善

「危険度分布」において「本川の増水に起因する内水氾濫(湛水型の内水氾濫)の危険度」も確認できるよう、本川流路の周辺にハッチをかけて危険度を表示するように改善する。

改善案(イメージ)



ハッチ表示はON/OFFできるようボタンを追加(デフォルトOFF)

本川の増水に起因する内水氾濫(湛水型の内水氾濫)の危険度
河川の増水によって周辺の支川・下水道からの排水ができなくなることで発生する内水氾濫による洪水被害のおそれがあると認められるときに発表。

- 警戒【警戒レベル3相当】
- 注意【警戒レベル2相当】

ボタンON時に凡例を表示

令和元年度・令和2年度の主な取組(浜松河川国道事務所)

令和元年度実施

- **対応行動整理表**によるタイムラインの拡充
- **ホットライン**や**洪水対応演習**等の**情報伝達訓練**の充実
- 住民の避難行動を促すためのスマートフォン等を活用したリアルタイム情報の提供や**プッシュ型情報の発信**・普及活動の実施
- 防災教育に向けた**指導計画の促進・支援体制の構築**
- 効果的な「水防災意識社会」再構築に役立つ情報や、**浸水リスクを周知するための啓発資料の作成**

ホットライン・洪水対応演習の実施



所長によるホットラインの実施と報告

洪水対応演習と同時に、**ホットライン**の訓練を実施した。

浸水リスクを周知するための啓発資料の作成



、**住民向けの出前講座等に活用可能な資料**を作成した。

学校などと連携した水害(防災)教育の拡充



防災教育資料の作成を行った。

プッシュ型情報の発信訓練の実施

緊急連絡メールの配信訓練・菊川市水防団による避難訓練を実施しました

浜松河川国道事務所では、平成30年5月1日から緊急連絡メールを活用した洪水情報のプッシュ型配信を開始しています。
令和元年の9月2日、**菊川市の菊川市及び豊川市を対象に、浜松河川国道事務所では初めての取組となる緊急連絡メールの発信訓練と、菊川市水防団の水防演習時にメール発信に合わせた避難訓練**を行いました。

配信した緊急連絡メール

緊急連絡メールを活用した避難訓練

実施場所：菊川市おぞら農村公園
参加人数：390人

緊急連絡メール確認中

菊川市水防演習の様子

1号ゲート 2号ゲート 3号ゲート

菊川市水防演習に合わせて、**緊急連絡メールをプッシュ通知する訓練**を実施した。

対応行動整理表

項目	内容	担当者	完了日
対応行動整理表の改訂	関係機関ヒアリングや訓練結果等を踏まえ、対応行動整理表の改訂を行った。		
関係機関ヒアリング	関係機関ヒアリングや訓練結果等を踏まえ、対応行動整理表の改訂を行った。		
訓練結果	関係機関ヒアリングや訓練結果等を踏まえ、対応行動整理表の改訂を行った。		

関係機関ヒアリングや訓練結果等を踏まえ、**対応行動整理表の改訂**を行った。

令和2年度予定

- 防災訓練の実施支援及び各種計画の見直し検討
 - 菊川及び天竜川下流における洪水対応演習のシナリオ検討、資料作成及び実施支援を行う。
 - タイムライン、対応行動整理表、防災業務計画書の見直しを行う。
- 避難判断行動に必要な防災情報提供手法の検討
 - モデル地区を対象とした避難情報提供手法の検討結果や関係自治体への意見照会を踏まえ、避難シミュレーション等により課題を抽出する。
 - 防災情報提供手法の支援実施について検討し、避難計画の作成支援に役立つ資料として取りまとめる。

モデル地区の特徴



- 防災教育の検討
 - 防災教育授業の問題点の把握や課題の抽出等を行い、より効果の高い授業内容を検討する。
 - 授業の実施支援を行う。

授業の実施支援



- 排水作業準備計画の更新検討
 - 浜松河川国道事務所排水計画の見直しを実施する。
 - 排水ポンプ車の配置の再検討など、排水作業のさらなる効率化を検討する。
- 要配慮者利用施設における避難確保計画の作成支援
 - 関係自治体の状況や要望を踏まえ、避難確保計画の作成支援補助を行う。

令和元年度・令和2年度の主な取組(電源開発株式会社)

令和元年度実施

○ダムの機能や効果、操作に関する情報周知

- 天竜川水系ダム放流説明会を2年に1度開催し、ダムの設備概要、ダム放流の概要、ダム放流時の連絡先等を関係機関へ説明。

<令和元年度実績>

実施日: 令和元年5月31日(金)

参加機関: 浜松河川国道事務所、浜松市、磐田市、天竜警察署、
浜北警察署、浜松東警察署、浜松市消防局、磐田市消防局、
静岡県企業局、浜松土地改良区

○住民の避難行動につながるダム放流情報等の提供

- 天竜川水系(佐久間ダム・秋葉ダム・船明ダム)のダム諸量データを川の防災情報上で令和元年7月より公開開始。

ダム名	水系名	河川名	貯水位 (m)	貯水量 (10 ³ m ³)	貯水率 (利水容量)(有効容量) (%)	貯水率 (%)	全流入量 (m ³ /s)	全放流量 (m ³ /s)	時間雨量 (mm/h)	累加雨量 (mm/h)	所在地
高島ダム	大井川	大井川	452.19	19338	852	283	69.25	71.01	0.0	39.6	静岡県榛原郡川根町海神
佐久間ダム	天竜川	天竜川	253.57	-	-	-	371.00	302.00	-	-	静岡県浜松市天竜区佐久間町佐久間
秋葉ダム	天竜川	天竜川	106.14	-	-	-	431.00	431.00	-	-	静岡県浜松市天竜区龍山町
船明ダム	天竜川	天竜川	55.29	-	-	-	564.00	502.00	-	-	静岡県浜松市天竜区船明
太田川ダム	太田川	太田川	271.06	5441	1041	-	5.74	5.21	-	-	静岡県周智郡森町久保
金野ダム	中部その他	伊東大川	136.19	1280	100.0	-	5.76	5.39	-	-	静岡県伊東市鎌田字横垣
青野大谷ダム	青野川	鈴野川	163.47	103	109.2	44.1	0.57	0.56	-	-	静岡県賀茂郡南伊豆町青野

○関係機関が連携した実働水防訓練の実施

- 秋葉ダム下流の西川地区において、防水門扉操作・排水設備操作の実働訓練を毎年1回実施。

<令和元年度実績>

実施日: 令和元年9月1日(日)

参加者: 龍山協働センター、地元住民、J-POWERグループ社員



(ダム放流説明会)



(西川地区防災訓練)

令和2年度予定

○関係機関が連携した実働水防訓練の実施

- 秋葉ダム下流の西川地区において、防水門扉操作・排水設備操作の実働訓練を毎年1回実施。

<令和2年度予定>

実施日: 令和2年9月頃

参加者: 龍山協働センター、地元住民、J-POWERグループ社員

○住民の避難行動につながるダム放流情報等の提供

- 天竜川水系(佐久間ダム・秋葉ダム・船明ダム)のダム諸量データを川の防災情報上で公開(継続)。

ダム名	水系名	河川名	貯水位 (m)	貯水量 (10 ³ m ³)	貯水率 (利水容量)(有効容量) (%)	貯水率 (%)	全流入量 (m ³ /s)	全放流量 (m ³ /s)	時間雨量 (mm/h)	累加雨量 (mm/h)	所在地
高島ダム	大井川	大井川	452.19	19338	852	283	69.25	71.01	0.0	39.6	静岡県榛原郡川根町海神
佐久間ダム	天竜川	天竜川	253.57	-	-	-	371.00	302.00	-	-	静岡県浜松市天竜区佐久間町佐久間
秋葉ダム	天竜川	天竜川	106.14	-	-	-	431.00	431.00	-	-	静岡県浜松市天竜区龍山町
船明ダム	天竜川	天竜川	55.29	-	-	-	564.00	502.00	-	-	静岡県浜松市天竜区船明
太田川ダム	太田川	太田川	271.06	5441	1041	-	5.74	5.21	-	-	静岡県周智郡森町久保
金野ダム	中部その他	伊東大川	136.19	1280	100.0	-	5.76	5.39	-	-	静岡県伊東市鎌田字横垣
青野大谷ダム	青野川	鈴野川	163.47	103	109.2	44.1	0.57	0.56	-	-	静岡県賀茂郡南伊豆町青野

○ダムの柔軟な運用への協力

- 国土交通省の要請に基づき、天竜川水系ダム管理連絡調整協議会に参画し、既設ダムの治水活用に可能な範囲で協力していく。

令和元年度・令和2年度の主な取組（浜松河川国道事務所） * ハード対策

令和元年度実施

○河道掘削・樹木伐採

河道流下断面を確保するため、流下能力が不足し被害が発生する恐れのある区間について、河道掘削及び樹木伐採を実施。

天竜川右岸18.2k付近 樹木伐採



伐採前



伐採後

○危機管理型ハード対策

氾濫リスクが高いが上下流バランス等の観点から堤防整備に至らない区間等について、当面の間、決壊までの時間を少しでも引き延ばす対策を実施。

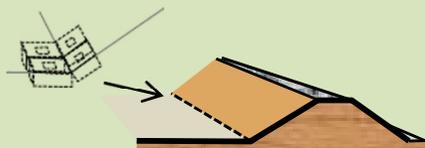
堤防天端の保護



堤防天端をアスファルト等で保護すれば、ある程度の時間アスファルト等が残っている。



堤防裏法尻の補強



堤防裏法尻をブロック等で補強



令和2年度予定

○河道掘削・樹木伐採

流下能力が不足し洪水時に甚大な被害が発生する恐れのある区間について、引き続き河道掘削及び樹木伐採を進めていく。



右岸の低水路
拡幅を実施

菊川右岸4.2k付近



樹木伐採予定箇所（天竜川5k付近）

○防災関連施設整備

菊川では、引き続き災害復旧資材の備蓄、情報の収集発信、災害復旧活動の拠点のための河川防災ステーションを整備する。



防災ST整備予定箇所

下内田地区河川防災ST

